

令和5年(2023年)5月29日 (月曜日)

# 御堂清掃ししゃぎり奉納

## GW三島腰切不動尊大祭に100人

三島市のNPO法人と語った。

グラウンドワーク三島は28日、同市南本町にある腰切不動尊で大祭を開いた。御堂の清掃と法要を行い、多くの地域住民が参加した。

毎年5月28日に大祭、9月28日と1月28日に例祭を開いている。同NPO関係者と地元住民らが法要を前に、雑巾がけなどで御堂と周辺を清掃した。

法要には約100人が参列し、その後、田町区砂切保存会がししゃぎりを奉納した。同NPOの渡辺豊博専務は「長い歴史がある地域の財産。大切に引き継いでいくことが重要」



法要やししゃぎりの奉納などを行い、多くの人でにぎわう大祭＝三島市南本町

民が御殿川の駐車場の腰切不動尊は、1633(寛永10)年に住川底から見つけた腰切不動尊を祭

つたのが始まりとされる。安産や腰から下の病にご利益があると言われる。

祭典は40年にわたり途切れていたが、1999年に同NPOが復活させ、御堂や隣接する「腰切井戸」を再生した。